

令和7年度 第2回 北浜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- | | |
|----------------|---|
| 1 開催日時 | 令和7年7月22日（火） 13:30から16:00 |
| 2 開催場所 | 北浜中学校 小会議室 |
| 3 出席委員 | 大村 仁、斎藤千朝、波多信広、原崎佳久、
古谷一平、田中隆雄、椿田育代、 |
| 4 欠席委員 | 大岡成光、高林博史 |
| 5 学校支援コーディネーター | 渥美英明、竹内真哉、松嶋のぶこ |
| 6 学 校 | 岡田芳樹（校長）水谷裕士（教頭）、
井ノ口さおり（CS担当）鈴木敬子（CSディレクター） |
| 7 傍聴者 | なし |
| 8 会議録作成者 | CSディレクター 鈴木敬子 |
| 9 議長の選出 | |

司会から議長の選出について意見を求めたところ、会長から波多委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校評価アンケートについて
- (2) 各学年の取組・課題について（学年主任より）
- (3) 北中応援隊について

11 会議記録

司会の波多委員から、委員総数9名のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価アンケートについて

生徒と保護者のアンケート結果を主幹教諭から報告した。

・先生方のアンケートもあるのか。運営協議会についても聞いてみたい。

（竹内コーディネーター）

→あるが、締め切ったばかりなので今回はない。（井ノ口主幹教諭）

・比べると保護者の方の評価が厳しい。（大村委員）

・全体的に高評価ではあるが、保護者評価が厳しい理由を知りたいと思う。（校長）

・家庭学習の範囲はどこまでなのか。（大村委員）

・例えばタブレット持ち帰っての学習等、多様な学び方がある。（校長）

・評価項目の「そう思わない」につけた人の不満はどう把握するのか。

（田中委員）

→意見については別途になっていて分析中である。それぞれに対応するようしている。保護者でもある委員の方の意見も伺いたい。（校長）

- ・親目線で結果をみると頷ける部分が多い。子の認識より厳しくなる。

(波多委員・原崎委員)

- ・地域では中学生の悪評は聞こえてこない。（大村委員）

→三者面談を行っているが、頂いた意見については担任から主任、主任から次へと報告が行くように連携ができている。（校長）

(2) 各学年の取組・課題について（学年主任、支援級主任説明）

○1年生：入学式から3, 4か月が過ぎ明るく過ごせている。学校が安心できる場であるように心がけている。夏休み期間中も生徒との関りを持ち対応していきたい。9月の未来授業では様々な業種の講師を依頼したいので、CSの方々に相談したい。

- ・コーディネーターとのやり取りで決めてほしい。今回はピンポイントで依頼する方向でよいのではないかと思う。（校長）

- ・募集は掛けないのでしょうか。（松嶋コーディネーター）

- ・今回は学校側の意向もあるので、この人という人に声掛けをして話をお願いしたいと思っている。（竹内コーディネーター）

- ・講師像は仕事に就いたばかりの若い人なのか。それとも熟練の人なのか。（波多委員）

→何のために働くのか。ある程度年齢をかさねた親目線地域目線で語れる人がよいと考えている。（1年主任）

- ・その仕事の良さを伝えられる人が、よいのではないか。（校長）

- ・こういう経緯でこの仕事に就いていることが話せる人もよいのですね。（原崎委員）

- ・地域の人がいいということですがどれくらいの範囲がよいのでしょうか。（田中委員）

→2年生で行う職場体験に繋げられたらと考えている。（1年主任）

- ・以前職場体験を受けた人で子供たちに話をしてみたいと言ってくれている人もいる。（古谷委員）

- ・校区の小学校で講師を依頼した際に、CSで地域のこの人にとお願いし成果があったので良いと思う。（波多委員）

- ・学校側からやってほしい人にお願いし、講師側からやりたい人があれば申し出てもらうこともよい。（大村委員）

- ・1年生は、まだはっきり考えていないので地元の知っている人もよいと思う。（渥美コーディネーター）

- ・通年募集して、その時に応じた人にお願いするのもよいのではないか。（竹内コーディネーター）

- ・未来授業は初めての試みですか。（斎藤委員）

→今まで行っているが外部団体からの講師だった。しかし、子供に合う合わないが見られたので、顔が見える講師にしたい。（校長）

・生徒のマッチングを考えることが重要。（大村委員）

・3校時と4校時は内容が違うのですか。（波多委員）

→50分を2本で行うが、生徒は自分の名刺を作成し講師との関りを持てるよう計画している。（1年主任）

・募集は人材バンク的に、併せて推薦も考えていきたい。（校長）

○2年生：野外活動、部活壮行会、生徒会選挙等を見ていて大きく成長してきている。9月の職場体験ではCSの方たちの協力のもと、体験先が増え生徒グループ数を上回った。おかげでスムーズに進んでいる。

・打診してみると受けてくれる所が多くかった。体験先による温度差もあるが、来年に活かしたい。（原崎委員）

○3年生：学習面等自分たちで課題を見つけ解決しようとしている。苦手な生徒も頑張っている。教室での生活が難しい生徒も適応指導教室等に行っている。様々な活動で、結果に至る過程に満足できている子供たちが多い。

・タブレットも使って主体的に学んでいる。学び方はたくさんあってほしい。教員は、多様なスタイルを前向きに研修している。（校長）

・保育園でも、指示待ちではなく自分から動く子供を育てようとしている。時代が変わっている。（斎藤委員）

・タブレットを使っていると外から見るとわからないが、今の高校生はICTを使いこなしている。（大村委員）

・若い世代では指示待ちの子が多い。（波多委員）

・ゆとり世代は影響が大きい。良い子たちではあるが。（椿田委員）

・今の中学生、小学生には強く叱れない。（田中委員）

・建築業界でも、厳しく教えられてきた職人さんたちは若手に教えられない。いろいろなところで教える側が大変である。（大村委員）

・これから社会でやっていけるかが重要となる。（大村委員）

・北浜中は良いと思う。地域の力もある。（波多委員）

・学校を支援する地域性。（校長）

○発達支援級：知的と情緒の2種類の教室に27名在籍している。社会参加を目標としている。社会性が苦手でも「ごめんなさい」「ありがとう」が言えるように。職場体験は毎年行い、障がい者就労への理解をお願いしている。発達支援級だけの「3年生を送る会」は生徒だけですべて行い教員は見守るだけだが、良い会ができている。

・発達支援級と通常級の関りが無理なくできている。（校長）

・タブレットは使っているか？字がかけない子がタブレットで書けるようになった事例を聞いたので。（大村委員）

→タブレットを使うかどうかは子供たちに選ばせている。向き不向きがあると思う。（発達支援級主任）

（3）北中応援隊について

- ・昨年度のコーディネーターの古谷さんが応援隊長。（原崎委員）
- ・良い形で進めていきたい。（古谷委員）

12 その他報告事項等

目指す子供の姿に向けて 生徒会選挙・虹色文化発表会・体育祭

- ・今後の予定

第3回学校運営協議会 令和7年11月26日（水）午後1：30～3：00

第4回学校運営協議会 令和8年 2月10日（火）午後1：30～3：00